

# 安全のしおり

この安全のしおりでは、お使いになる人や他人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。また、このしおりにおいて、誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度は、次の区分で説明しています。

<p><b>警告</b></p>	<p>この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、又は火災の可能性が想定される内容を示しています。</p>
<p><b>注意</b></p>	<p>この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。</p>
<p><b>お願い</b></p>	<p>安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。</p>

※万一、このしおりにしたがわず使用された場合の故障や事故などについては責任を負いかねることがあります。

## 設置の注意

**警告**  
ウォーターサーバーやウォーターボトルは、次のような場所に置かない  
●直射日光の当たる場所  
●湿気やホコリの多い場所  
●高温になる場所  
●不衛生な場所  
●においの強い物(芳香剤・殺虫剤など)がある場所  
水質に影響を与え、味や安全を損なう恐れがあります。

**お願い**  
ウォーターサーバーは屋内専用です。屋外では使用しないでください。故障の原因になります。

**警告**  
床置き型のウォーターサーバーは水平な安定した床面に設置する  
また、卓上型のウォーターサーバーを台の上で使用する場合、十分安定した台の上に設置する  
ぐらついた台の上や傾いた所に設置すると、ウォーターサーバーが転倒したり、ウォーターボトルが落下するなど、ケガや感電・火災の原因になります。

**警告**  
ウォーターサーバーの上にウォーターボトル以外の物を載せない  
故障・感電・火災の原因になります。

**警告**  
ウォーターサーバーは周囲と15cm以上離して設置する  
必ず行う  
火災・故障の原因になります。

**警告**  
電源コードはタコ足配線にしない、束ねない、踏みつけない  
火災・感電の恐れがあります。

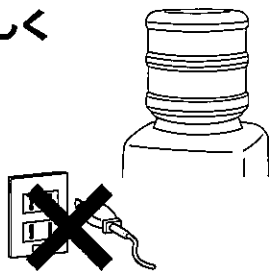
<p><b>警告</b></p> <p>電源は交流単相100Vで定格15A以上の専用コンセントを使用してください。火災の恐れがあります。</p> <p>アース線のある機器は、安全のため、必ず最初にアース接続してください。アース線が接続されておらず、万一漏電した場合、火災・感電の恐れがあります。</p>	<p><b>注意</b></p> <p>電源プラグにホコリが付着していないか確認し、コンセントにプラグの根元まで確実に差し込んでください。ホコリが付着したり、接続が不完全な場合、感電・火災の恐れがあります。</p> <p>可燃性ガスの漏れる恐れがある場所や、シンナーなどの揮発性の高い溶剤などを近くで使用しないでください。爆発・火災の恐れがあります。</p>
---	---

# 初めて使うときの注意

## 1 ウォーターサーバーは正しく設置されていますか？

### △注意

- 正しく設置されるまではコンセントにはつなげないでください。
- ウォーターサーバー背面の排水口がしっかり閉まっているか念のため確認してください。



## 2 ウォーターボトルの準備

ウォーターボトルの賞味期限を確認し、ウォーターボトルの表面を拭いたあと、キャップシールをはがしてください。  
(ウォーターボトル交換時の注意 1 2 を参照ください)

## 3 ウォーターボトルをウォーターサーバーにセットします

ウォーターボトルをウォーターサーバーにセットしてください。  
(ウォーターボトル交換時の注意 3 を参照ください)  
タンク内に水が入ると同時にタンク内の空気がウォーターボトル内に上昇します。

### 重要

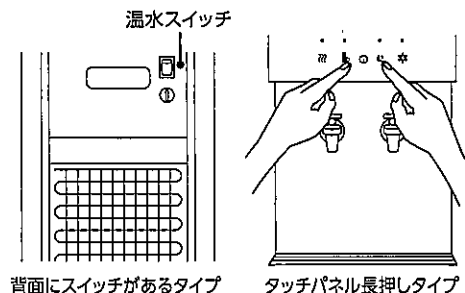
## 4 温水タンク内の空気を抜きます

ウォーターボトルをセットしたら、温水蛇口(ロック解除しながら)を下に押し続け、温水タンク内の空気抜きを行ってください。数分で温水蛇口より、お水が出ます。  
お水が出ましたら空気抜きは完了です。

## 5 電源プラグをコンセントに差し込み、温水スイッチを入れます

電源プラグをコンセントに差し込み、温水スイッチをONにします。  
冷水スイッチはありませんが、この時点で自動的に冷却も開始されます。  
※温水を使用しない場合でも、温水スイッチはONにしておいてください。

電源を入れてから、30~40分で温水および冷水が使用可能になります



背面にスイッチがあるタイプ

タッチパネル長押しタイプ

## 6 設置後の確認

ウォーターボトル付近、蛇口付近、タンク部およびウォーターサーバー裏面より水漏れがないか確認してください。万一漏れがあった場合は当社営業担当者又は営業所へご連絡ください。

# ウォーターボトル交換時の注意

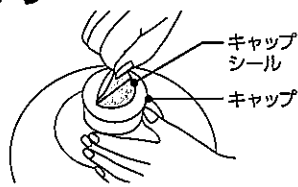
ウォーターボトル内のお水がなくなったら、お客さまご自身で、新しいウォーターボトルに交換してください。

## 1 ウォーターボトルの賞味期限を確認する

## 2 ウォーターボトルの表面を拭いたあと、キャップシールをはがす

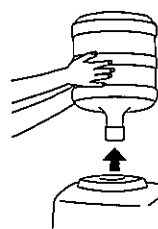


キャップ周辺→ボトル本体の順に、清潔な布などで拭く。

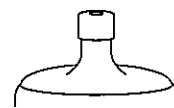


シールタイプのキャップシールは、はがした後、ボトル側面のラベルに貼り付けておいてください。

## 3 空になったウォーターボトルをボトル差込口から引き抜く



ウォーターボトルは両手で持って、垂直方向に力を入れて引き上げてください。

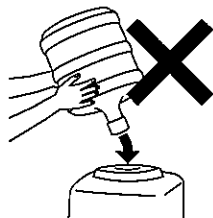
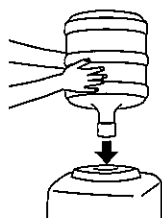


勢いよくボトルを抜いて、ボトルが顔にあたらないように注意してください。

## 4 ボトル差込口に水がたまっている場合はボトル差込口を掃除する

## 5 ウォーターボトルをボトル差込口に差し込む

- ①ウォーターボトルを両手で逆さまに持ち上げ、ボトル差込口とウォーターボトルのキャップ中央を合わせてください。
- ②ウォーターボトルは斜めにせず、まっすぐ垂直に差し込んでください。

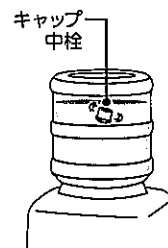


- ③そのまましっかり固定されるまで、ウォーターボトルを押し込んでください。

差し込みかたが足りないと...



### キャップの中栓が外れた場合



そのまま使用できませんが、お水が残った状態でウォーターボトルを抜き取るとお水が漏れ出すため、お水を使い切るまでウォーターボトルを抜き取らないでください。

# ● 使用時の注意

## ⚠ 注意



禁止

このウォーターサーバーは3ガロン又は、5ガロンボトルなどの規格サイズ専用ですので、それ以外には使用しないでください。トラブルの原因となります。



やけど注意

温水を出すときは、手につけたりしてやけどをしないよう十分注意してください。安全のため、お子さまだけで使用させないでください。



必ず行う

ウォーターサーバー背面の放熱部や電源コンセントなどに付いたホコリは定期的に取り除いてください。



禁止

ウォーターボトルに他のお水や飲料を入れて使用しないでください。健康を害するおそれがあります。

## ⚠ 警告



禁止

電源プラグに濡れた手で触れると感電する事があります。また、電源コードを持ってプラグを引き抜かないでください。感電したり断線やショートによる火災の恐れがあります。



禁止

背面の放熱部から棒や指を入れないでください。高温の温水タンクでやけどしたり、感電の恐れがあります。



禁止

修理技術者以外は絶対に分解したり修理を行わないでください。感電や漏水の恐れがあります。不当な改造や修理による故障、事故については保障しかねます。



電源プラグを抜く

焦げ臭いなどの異常がある場合は、すぐ運転を停止し、電源プラグを抜いて当社営業担当者又は営業所へご連絡ください。異常のまま運転を続けていると故障や感電、火災の恐れがあります。

## ⚠ やけどに注意

特に小さなお子さまのいらっしゃるご家庭ではご注意ください。

- チャイルドロックは小さなお子様の温水コック使用抑制が目的ですが、お子様の温水コック扱い方によっては、熱湯による火傷事故の危険があります。
- 小さなお子さまだけでウォーターサーバーに触れないようにしてください。
- 真似をしますので、お子さまにお湯を出している姿を見せないようにしてください。



# ● お手入れ

毎日おいしいお水をご利用いただくには、ウォーターサーバーのお手入れが必要です。

※ボトル差込口と冷水蛇口・温水蛇口付近のお手入れの前には、十分手洗いをしてください。

### ボトル差込口

#### ウォーターボトル交換時に必ず行う

- ① 清潔な布やキッチンペーパーなどで、ボトル差込口にたまっている水を完全に吸い取る。  
※水がたまり汚れが付着したままだと、カビやヌメリの原因になります。
- ② キッチンペーパーに台所用アルコール除菌剤(無香料)を吹き付ける。
- ③ ボトル差込口をていねいにそうじする。  
※ボトル差込口中央の突起物に、手を触れないよう注意してください。
- ④ 乾燥させてから、新しいウォーターボトルを取り付ける。



### 外装部 定期的に

- ① 清潔なやわらかい布に台所用中性洗剤を含ませて汚れを拭き取る。
- ② 水を含ませた布で水拭き後、から拭きをする。  
※台所用中性洗剤以外の洗剤やフレンザー・シンナー・ベンジンを使用しないでください。使用すると、外装部の割れ、変色の原因になります。  
※スポンジ・たわしを使用しないでください。樹脂を傷つける原因になります。



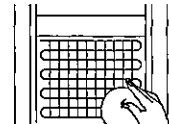
### 冷水蛇口・温水蛇口付近 こまめに掃除

- ① キッチンペーパーに台所用アルコール除菌剤(無香料)を吹き付ける。
- ② 冷水と温水蛇口の周辺を掃除する。  
蛇口の内側は清潔な綿棒などで掃除する。



### ウォーターサーバー背面の放熱部 定期的に

- やわらかなブラシや掃除機などを使って、ホコリなどを取り除く。  
※ホコリなどが付着すると冷却効果が下がり、故障の原因になります。



### 水切り板・水受け皿 こまめに掃除

- ① 水切り板と水受け皿を取りはずし、台所用中性洗剤で洗う。
- ② 清潔な乾いたやわらかい布やキッチンペーパーで、水気をよく拭き取る。
- ③ もとの位置へ取り付けます。

### 水漏れの点検 定期的に

- 機器の底面や背面部より水漏れがないか？  
水漏れしたまま使用すると、感電の原因になります。

### 電源プラグ・コードの点検 定期的に

- ① 電源プラグ・コードに亀裂がないか？  
② 電源プラグにホコリが付着していないか？  
③ 確実にプラグの根元まで差し込まれているか？  
④ 電源プラグやコードが発熱していないか？  
⑤ コードが重いもの下敷きになっていないか？  
上記のようなまま使用すると、感電・火災の原因になります。



# ●故障かな?と思ったときは

ウォーターサーバーの調子が悪くなったときは、修理の依頼前に次のことをお調べください。

こんなとき	調べるところ	処置のしかた
お水が出ないとき (冷水・温水)	ウォーターボトルが空になっていませんか。	新しいウォーターボトルに交換してください。
	温水タンクの空気抜きが不完全になっていませんか。	温水蛇口からお水が出るまでレバーを押してください。
冷水が出ないとき	電源プラグが抜けていませんか。	電源プラグを点検してください。
	冷水の出し過ぎ又は冷却時間が短かすぎませんか。	一度に大量のお水を使用しないでください。 時間を置いて使用してください。
	設置場所の温度が高くありませんか。	直接日光の当たらない風通しの良い場所に設置してください。
	背面の放熱部にホコリが詰まっていますか。	背面放熱部を掃除してください。
	ウォーターサーバーの背面が壁に近く設置されていませんか。	背面を壁より15cm以上離して、背面放熱部からの熱が逃げるように設置し直してください。
温水が出ないとき	電源プラグが抜けていませんか。	電源プラグを点検してください。
	温水スイッチがOFFになっていませんか。	背面の温水スイッチをONにしてください。
	温水の出し過ぎ又は加熱時間が短かすぎませんか。	一度に大量のお湯を使用しないでください。 時間を置いて使用してください。
お水が漏れている	冷却蛇口又は温水蛇口からお水が漏れていませんか。	蛇口がゆるんでいる場合がありますので右に廻して締めてください。
	背面の排水口からお水が漏れていませんか。	排水キャップをしっかりと閉めてください。
	ウォーターボトルが割れていませんか。	新しいウォーターボトルに交換してください。
	調べても、お水の漏れている場所が分からない場合。	電源プラグをコンセントから抜き、ウォーターボトルを取り外してください。 水漏れが止まらない場合は、冷水と温水蛇口とウォーターサーバー背面にある排水口からお水を排出します。 この時、温水が出てきませんので注意してください。
騒音(ノイズ)がする	ウォーターサーバーが傾いていませんか。	ウォーターサーバーを水平に保ってください。
	壁や他の製品に触れていませんか。	ウォーターサーバーを壁や他の製品から離してください。

## ●お願い

- ウォーターサーバーのお湯を調乳に使用する場合、製品(粉ミルク)の説明書に従った方法により調乳してください。
- ウォーターボトルは大変重いので、取り扱いに十分注意してください。足の上に落とすなどケガの原因になります。

## ●長期間使用しないとき

1. 温水スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
2. ウォーターボトルを取り外します。
3. お湯の温度が十分下がったら、冷水と温水蛇口を押してタンクのお水を排水します。
4. ウォーターサーバー背面又は底面にある排水キャップを外し排水します。お水がなくなったら排水キャップを取り付けます。

**⚠ 注意: お湯の温度が下がる前に排水すると、温水によるやけどの恐れがありますのでご注意ください。**

5. ウォーターサーバー各部に残っている水分を完全に抜き取ってください。水分が残っていると悪臭やカビ、サビの原因になります。

## ⚠ 異常に気がいたら...

